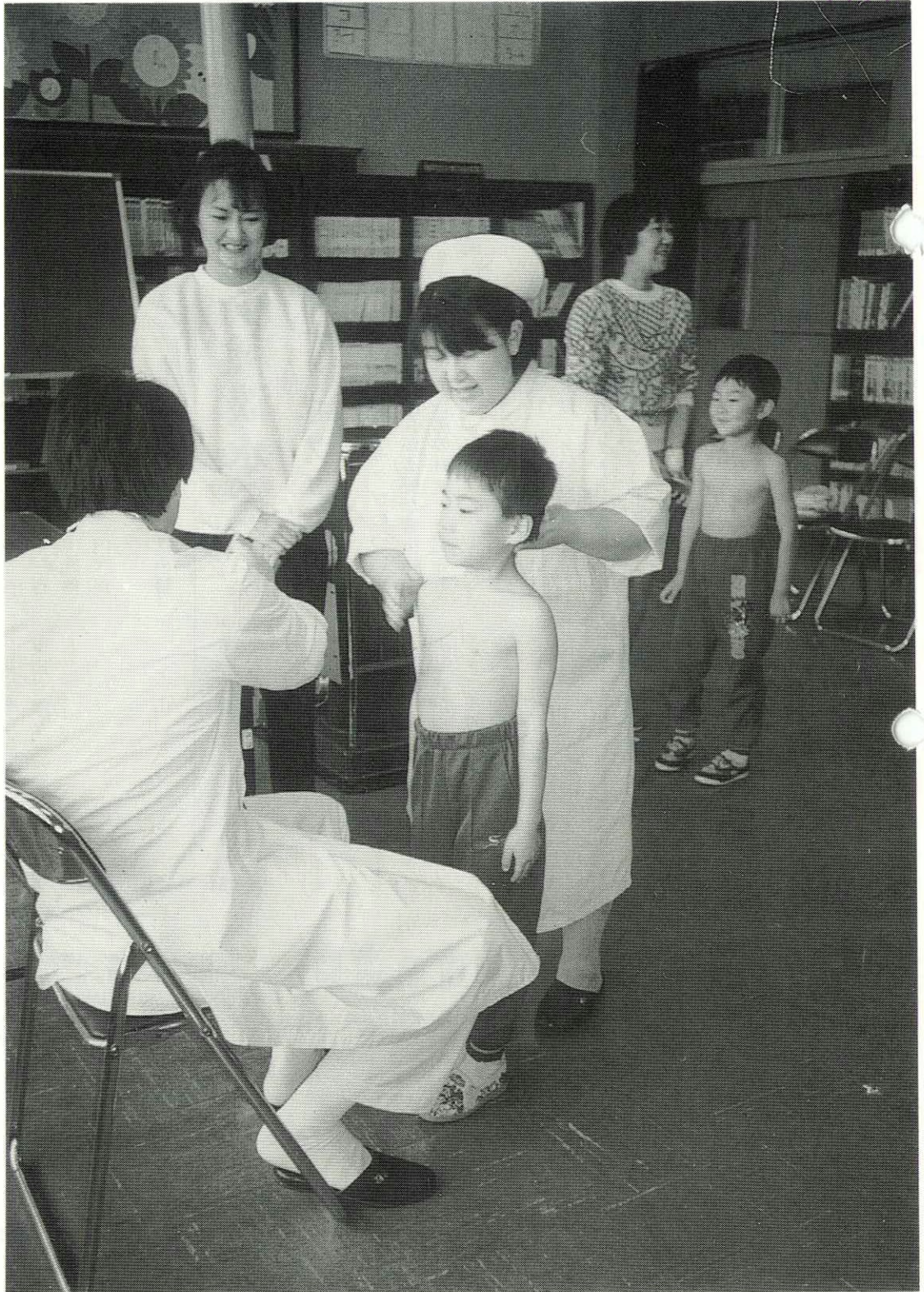


あいかわ

もうすぐ一年生。元気です

(記事18ページ)



町民税を減免します

冷害対策で臨時町議会

十一月九日に第四回臨時議会が開かれ、町民税の減免条例などが可決されました。臨時議会には、冷害の被災農家に対する町民税と国民健

康保険税の減免に関する条例として提案。該当条件は①減収率が二割以上 ②平成四年度中の合計所得額が六百万円以下（農外所得が二百四十万

円を越える者を除く）です。以上の条件に該当すると、平成四年度の所得金額に応じて減免されることになりました。減免の対象者は町民税三百三十四件（百八十七万三千三百円）、国保税二百三十九件（五百二十四万八千八百円）が見込まれています。なお、減免については申請

が必要で、その手続き等については、別にお知らせします。また、臨時議会閉会後は、冷害対策全般について、議会全員協議会を開催。種子対策、復田対策などが話し合われました。



町内に希少種淡水魚

シナイモツゴ

大野台の用水池で、希少種と指定されている魚の生息が確認され話題になっています。この魚はコイ科の一種『シナイモツゴ』です。シナイモツゴを確認した秋田県水産漁港課 杉山秀樹主

査はシナイモツゴについて「種の保存が必要な希少種。貴重な自然の財産」と紹介しています。シナイモツゴが確認された用水池は、工事が進められていく北欧の杜公園の一角。

水鳥の池として、自然環境を大切にしたい整備が計画されています。町では役場ロビーに、シナイモツゴの水槽を展示して、その保護を呼びかけています。水槽内には四ヶ月前後のシナイモツゴが約四十四匹。「シナイモツゴを見せてください」と訪れる人もおり、関心を集めています。

「川をきれいに」と標語づくり

東小学校で「みずべの教室」

この夏から、みずべの教室として故郷の川について勉強している合川東小学校では、児童から川についての標語を

募集し発表しました。みずべの教室は、秋田県水面漁業協同組合連合会で開催。八月には水生昆虫の調査など

気づこうよ川の自然の大切さ

一人ひとりの心がけきれいにしよう川の水

美しい川のがやき大切に

魚の命をあくずかる川をみんなできれいに大切に

魚がたくさんくるようにきれいにしよう川の水

守ろうよ命があるぞ自然の川

今月の紙面

- 2面 冷害農家の町民税等を減免
大野台に希少魚シナイモツゴ
上杉・集落排水事業が竣工
- 3面
- 4～7面 阿仁川の清流を考えるシンポジウム
- 8面 ことぶき荘・テニスコート・陶芸ハウスなどが竣工
- 9面 子ども未来基金助成事業後期分が決定
- 10面 熱戦町民つなひき大会

- 11面 しらつへ 三浦浩子さん
- 12～13面 スポット 町産業文化祭
- 14面 大野台で国際交流ウォークラリー
- 15面 フィンランド技師がログ建築北欧の森で
- 16～17面 実りいっぱいまとび学園で収穫祭
- 19面 若さの秘密 笹原正三さん
- 20面 町診療所に常任の所長
お知らせ 広報クイズ
- 22面 連載まんが いなちゃん日記
- 23面 慶弔日より 町長日記
- 24面 町政カレンダー

- 坂上広太郎
- 柳原 陽子
- 向井 顕悟
- 佐藤 香
- 森岡 梢
- 佐々木一志

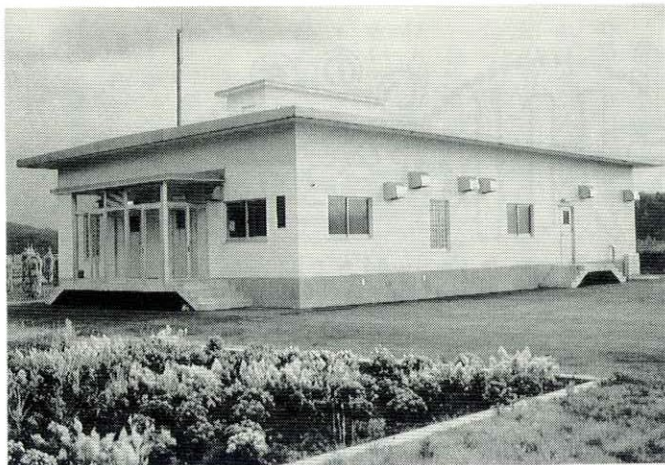
を行いました。阿仁川では、この調査などで二十種類以上の生物が確認されて当町地内の川は「きれいな状態」との報告が寄せられています。こうした水辺での体験をもとに「川を大切にしよう」と呼びかける七十七点の標語が

寄せられました。

『川は命、川を守るのは私たち』と真剣に呼びかける標語は、子供たちの決意と大人への強い呼びかけがいっぱい。優秀作に選ばれた十五点を紹介します。（敬称略）

美しい町づくりへさらに一歩

上杉集落排水施設で竣工式



十月三十日、農業集落排水事業「上杉処理区」の竣工式が行われました。

同工事は上杉集落（百五十九世帯）の生活雑排水を処理。地域の生活雑排水は東小学校の近くに建てられた処理場に集まり、衛生的に処理されるシステムです。工事は平成三年度からの三カ年事業で完成。近代的な生活環境が喜ばれています。

こうした集落排水施設は、鎌沢、三木

川にもね命があるよ大切に
守ろうよ魚の命川の水
よごすなよ川はみんなの友達だ
僕達の大事な川を守ろう
見せようよぼくらのきれいなこの川を
ぼくたちできれいにしよう川の水
みんなの力できれいな川をとりもどそう
守りぬこう魚の住めるきれいな川を
ふるさとの思いをのこそうきよらかな流れを

正田奈緒美
吉田 未来
山田 一恵
工藤 睦
関 純子
木村 拓也
金田 武志
北林 久嗣
工藤 大輔

火災に備えて「いざ出動」

火災予防運動で訓練

十一月七日、下杉地内で大火災の発生を想定した消防訓練が行われました。

発煙灯の煙を合図に、町内の消防団と広域消防合川分署から出動。消防用水と想定状況を確かめて、連携した消防訓練が緊張感いっぱいに行われました。

田、三里で一足先に竣工。現在下杉で工事が進められています。さらに木戸石、八幡岱、増沢地区が年次的に着工される予定でこれから事業によって

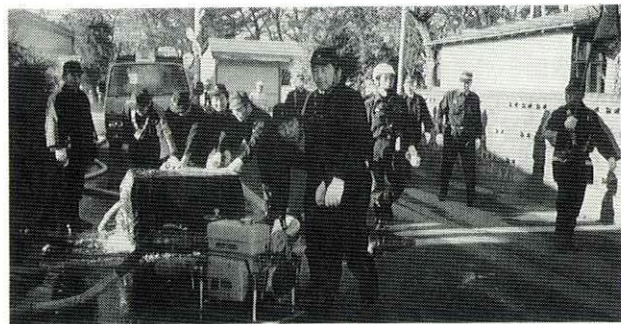
全町の三五%の世帯の整備が計画されています。竣工式では、地域関係者や工事関係者が集い、待望の工事の完成を祝い合いました。

十一月七日、下杉地内で大火災の発生を想定した消防訓練が行われました。

発煙灯の煙を合図に、町内の消防団と広域消防合川分署から出動。消防用水と想定状況を確かめて、連携した消防訓練が緊張感いっぱいに行われました。

この秋の統一標語は『防火の輪 つなげて広げて なくす火事』町消防団では毎戸訪問を行い、これからの季節

に増えるストーブの火災の防止などを呼びかけました。



わがまち

合川町に川は生命

阿仁川の清流を考えるシンポジウム

川が果たしてきた役目―川によって生かされてきた私たちの歴史を考えると、川を健康な姿で未来に引き継ぐことは現在に生きる私たちの任務であるという気持ちになります。



開会あいさつ・町長 畠山義郎

私たちに未来への責任があります

十一月六日、町民体育館で『阿仁川の清流を考えるシンポジウム』を開きました。町では平成元年に「ふるさとの清流を考えるシンポジウム」を開催。その後、森吉町、上小阿仁村を会場に、阿仁川・小阿仁川をテーマとしたシンポジウムが開かれています。

阿仁川上流の森吉ダム建設計画にあわせて、町内ではダム水を上水道に利用するための工事が進められています。私たちの生活を支え、うるおいと安らぎの場になってきた阿仁川は、私たちの命の川として、さらに大切なものになっています。

シンポジウムでの提言をもとに、もう一度、私たちと川がいつまでも「友だち」でいられるように、一人ひとりの暮らしを考え合しましょう。

人間は自然の一部 川は流す 文化の見直しを……

今年も今日の産業文化祭の午前の中で「ふるさと讃歌」が発表されましたが、ふるさと讃歌は山や川によって育まれてきた郷土への讃歌であり、それを心に刻み、守っていくのは私たちなのだ―という気持ち



基調講演・後藤美千男氏

持ちが湧いてきます。全国の川の中には、行政と人々が力を合わせて、吉里の川を大切にして未来に継承しようとしている例があります。一人ひとりが関心を持って、各家庭の行動を、流域全体の問題として考えてほしいと思います。今日の話題を家庭や地域に持ち帰ってできることから実行に結びつけましょう。

阿仁川の清流を考えるシンポジウム

講師・パネリスト・アドバイザー

- | | |
|----------------|-----------|
| 開発と環境問題研究者 | 後藤美千男氏 |
| 秋田県土木部河川課長 | 荒澤 文夫氏 |
| 森吉山ダム工事事務所長 | 田山 成一氏 |
| 森吉町長 | 松橋久太郎氏 |
| 阿仁川漁協専務理事 | 松橋 三郎氏 |
| ゴミを活かす合川町民会議会長 | 金田 京子氏 |
| コーディネーター | 合川町長 畠山義郎 |



人間は自然に対してごう慢になり、自然の怖さを忘れて

いないでしょうか。今年の冷害は、改めてその事を気付かせるものでした。

秋田の飢饉（ききん）の歴史を調べてみると、冷害は何年か続いて起きています。火山活動の影響や病害虫が翌年に残ることなどによると思われませんが、昔は祈ること以外に、その対策はありませんでした。作物が穫れないと食べ物は入ってきません。飢饉から、人の肉を貸し借りして食べたという記録もあります。

最近の「うまい米」づくりへの偏重が、病害虫の怖さを忘れさせ、冷害という形で、自然の脅威が、大きな被害をもたらしました。

自然保護という言葉に、私は人間が自然を治め保護するという人間の思い上がりを感じるがあります。人間は自然の一部なのです。

あるがままの自然のためには、人間が居ない方が良く、かと、疑問に感ずることもあります。動物の害などに、「がまんしろ」と言うだけの自然保護では困ります。

人間は元来、自然のままに住んでいました。高台のよう

な条件の良い所に住んでいた人間が、農耕し、貯水し、灌漑（かんがい）し、徐々に住む場所を変えてきました。自然の中に、自分たちの場所をテリトリーを造ってきました。

こうした自然と人間の関わり合いの中で、地球環境の破壊という問題が深刻になっていきます。地球温暖化、酸性雨、森林破壊などです。しかし生産をやめる。便利な生活をやめることができるでしょうか。今の生活を維持したままで公害を無くするという知恵こそ

が必要なのです。たとえば森林の成長に合わせて、木を利用することができれば、無限の資源です。しかし国内の木を大切にしないで外国の木にだけ目を向けてきた結果、国内の森林は荒れて国土の保水力が失われています。

こんな時代ですから「古里」が見直され、川を大切にしようという呼びかけが起きてきます。

自然から考えるとダムは全く「不自然なものです。しかし治山治水について考えると、ダムの必要性は否定できません。

下流の氾濫（はんらん）を防ぐには、ダムや、蛇行の無い川が望まれます。しかし、増水による川のかく乱は、河原の自然のサイクルや水田の機能を保つためには必要なことです。

多目的ダムには、水を蓄えておく発電と、空けておいて洪水に備える二つの矛盾した機能ががあります。過去には、ダム水の放出の失敗が洪水を大きくした例もあります。この矛盾は可能な限りの利用の

制限で調整されなければならぬわけですが、森吉山ダムは特に放水の設計など、治水と利水が競合しない複合ダムと言っても良いと思っっています。しかし小又ダムとの二重ダムであることなどの問題がありますので、管理によってその影響を最大限にする努力は必要です。萩形ダムは杉沢発電所への分水など多くの問題を感しますが、発電をおさえてでも、清流を取り戻したいという考えも、地域の皆さんの心の結集によつては選択の一つになると思います。

ダムや堤防にも、これからは自然の機能を大切にしよう

という動きがあります。ダムや堤防を築くことで、別の形で自然を利用しようということとです。川には、瀬があり渚があり川原があります。住民の意見を反映させて、川を造ることが大切です。

川を守ることは、まず「一人から始める」です。スプーン一杯のしょう油をきれいに

自然を大切に ダムをめざしています



パネリスト・田山成一氏

するにはふるおけ十杯の水が必要で、流しても消えることのない化学物質が使われるようになりました。川はすべてを流す」という風習は祭りやお祈りを含めて、見直したいものです。みんなで川の文化を再構築していきましょう。

下流部では①水量の変化はダムの調整によって洪水時には少なくし、渇水時には多くするということです。従って水不足による水質汚染は少なくなりませんが、ダムから直接利用する水があると、その分、下流の川を流れる水は少なくなります。②水温の変化は夏場のダムの水は表面の水温上昇し、底は冷たくなります。森吉山ダムは上部の水を放流する設計で、冷たい水の影響は少ないものになっています。③汚水の長期化はダム湖に沈んだ部分からの放水は、こうした影響が起きますが、これも、森吉山ダムでは表面

部分の澄んだ部分から放流しますので、比較的防げるものになっていきます。

ダムが清流を守るといふことで工夫されてきていることを知っていただきたいと思えます。

清流を守るといふことでは

阿仁川をサケが重なりあつて

のぼる川にしたい



パネリスト・松橋久太郎氏

北海道の十勝川で、サケが重なり合つて遡上(そじょう)する様子を見る機会があり圧倒されるような感動を覚えました。今年二月の阿仁川シンポジウムを機会に、町の人たちの川に対する考えは大きく変わってきました。この夏には奥森吉のクリーンアップを行い、つり客、山菜採りなど

さきほど、しょう油の話がありました。濃度の濃い物質が流れこむとその処理は、技術的にも経済的にも、たいへんな負担になります。米のどぎ汁の処理にも気を配ってほしいと呼びかけています。

のゴミの量に、こんなに奥森吉に人が入っているのかと、改めて考えさせられてきました。阿仁川の清流を守るため六つのことを考えています。

①河床をきれいにする。このためには河の石を動かすことで、大きな洪水が無いと河床は汚れていきます。すべてをコンクリート護岸にしないで、内側に柳や植物の場所も必要です。

②ごみ処理場の対策。現在、森吉町大谷にある処理場は、PPMなど保健所の調査でも川を汚してはいないという結果になっていますが、気持ちの上で不安をいだく人もあります。処分場は、河川を汚すことの無いものになければ

なりません。

③廃鉱の対策。阿仁川流域には多数の廃鉱がありますので有害物質が出ないことの確認を徹底する必要があります。④下水道対策。都市下水道と集落排水対策事業を結びつけて広域な取り組みを提言しています。

⑤無害洗剤の利用。洗剤は川を汚し、健康への害も指摘されています。⑥奥森吉地区の禁漁区の設定。阿仁川漁協では、イワナが自然増殖できる河川の保護をめざしています。イワナを阿仁川の清流のシンボルとして誇れるように、力をあわせていきますように。

阿仁川はきれいです

しかし魚は減っています



パネリスト・松橋 三郎氏

世界には約二百種類の淡水魚が確認されていますが、阿仁川にはそのうち約三十種類がいるものと見られています。メダカ、タナゴ、エビ、グンズ、スナモゴリーかつてはいたものが絶滅したものの、また

は見かけなくなったものもあります。

アユ、ヤツメ、カジカ、ウグイもずいぶん少なくなりました。

阿仁川漁協では禁漁区の設定などを行い、こうした魚を守り育てるためにがんばっています。漁協で放流した魚は、アユ百五十万尾、サケ四千二百万尾の外、サクラマス、イワナ、ヤマメ、コイなど四千万五百万尾にもなります。こんな努力にもかかわらず魚が減っているのは川が汚れているからでしょうか。

この夏、合川東小学校の児

童と一緒に「みずべの教室」を開き、水棲(すいせい)動物による調査を行いました。合川町地内は阿仁川中流域になるわけですが、二十種類の水棲昆虫が確認されました。五段階評価の最良位と次の良位を示す昆虫がおり、日本でもトップクラスの清流との評価になりました。

私は魚が減っている大きな原因は自然産卵する場所の荒廃だと思えます。阿仁川の魚の多くは砂利が豊かできいな伏流水のある合川地内あたりで産卵していたと思います。しかし、今は伏流水どころか、まっ黒な石とコンクリートで、産卵の条件は著しく低下しています。ナマズは用水ぜきや田んぼの中で産卵したのですが、これもコンクリート化し、産卵できません。

私は小阿仁川のそばで育ち、昔の川を見て育ちました。芹沢の「とめ」の上流は四メートルの船さおが、川底に届きませんでした。三里の「とめ」では、とめを越えようとはねる鮎を網で大きな袋に獲っていました。そんなに獲ってどうするのと尋ねたら、鶏のえさ

にするのだと答えました。今では想像できない話ですが、本当の話です。

小さな川が大きな問題をか

今日だけの会にしないで

明日から活動をー

かえていることを、皆さんと一緒に勉強し合っていきたいと思えます。

きをあげて泳ぎまわりました。

少年団では深いところを泳げないと一人前に扱われず、魚をヤスでとり心の交流の場でした。私たち女の人たちの洗たくの光景も忘れられません。今の子供たちには無い川の思い出です。

また川はしばしば洪水で私たちが苦しめました。強い雨になると水害におびえました。

小阿仁川は阿仁川と合流しさらに米代川と合流します。

こうした水系全体を考えると、改めて川を大切にしなければならぬと思えます。汚れの原因の一つは生活雑排水で、私たちの責任です。これからの活動の中で考えていきたいと思えます。

河川敷へのゴミの投棄もあると聞きますが、絶対に無くしたいものです。特に小阿仁川は水が少なく、今や、排水



パネリスト・金田 京子氏

路と言ってもいいほどです。

清流にして未来に残し、さらに川の端に花を植えるとか、桜並木のある堤防など河川の空間利用についても考えたいと思えます。

安全で安心できる川を守るため、川の様子を勉強するこ

川で子供を遊ばせたい

とも大切で、務沢川上流部に計画されているゴミ処理場についても関心をもちたいと思えます。今日のシンポジウムを、今日だけのものにせず、これからの活動としてがんばっていきましょう。

子供が川に入るようになると、大人が川に関心を持ち、川を大切にしようという気持ちが強くなるのではーと感じました。

たとえばコイがすむのは、あまりきれいな川じゃない、サケが上るのがきれいな川だということも、川に親しむ子供たちに知ってほしいことです。

以前は川については、極端に言うといかに下流に早く流すかーがテーマでしたが、現在は、自然環境に配慮し、水に親しむということもテーマになってきました。深みや浅瀬を造り、動植物がすみ付くような工夫もされてきています。

に、ますます水が必要になってきます。そのためにはやはりダムの必要性がでてくると思えます。

会場から

来賓として参加いただいた北林照助県議員は阿仁川から持って来た石を示しながら、「川の汚れの最大の原因はダムであり、その計画や、操作については、清流を守る」ということで英知を結集してほしい」と要望。「森吉山一帯を国定公園にし、ぶなの林を育て清流を守ろう」との呼びかけがありました。

その他会場からは「国有林の伐採が、山の崩壊を進め、川を汚している。その対策を考えてほしい」「各家庭のゴミ処理や排水が、川を汚していないか、点検し合い話し合おう」との発言がありました。

阿仁川の清流を考える

シンポジウム

11月14日、大野台老人福祉総合エリア
ひまわりの家で、『地域福祉推進特別対
策事業』と『老人憩いの家ことぶき荘』
の竣工式が行われました。

地域福祉推進特別対策事業では、福祉
エリア内に屋内外照明付ゲートボール場、
大駐車場、陶芸ハウス、照明付き全天候
型テニスコート、身障者用トイレ、スポー
ツ芝広場などを整備。一足先にオープン
したゲートボール場は、各種大会に幅広
く利用され喜ばれています。

ことぶき荘は、昭和45年に県内の初施
設として建築され、お年寄りを中心に、
福祉活動の“お城”として利用されてき
ました。改築によってステージ、身障者
用トイレなどが設備され、一層利用しや
すくなりました。

竣工式に先立って、関係者が出来上った
各施設を視察。テニスコートでは、
雨をつけて鷹巣阿仁部4高校テニス交流
大会が開かれ、新コートにラケット音と
歓声が響いていました。

式典で畠山町長は、特別養護老人ホーム、
デイサービスセンターなど来年度から
の一連の建築工事について紹介し「四季
を通じて、どんな年代の人でも心安ら
ぐエリアにしたい」とあいさつ。『健康
と生きがいの楽園づくり』を誓い合いま
した。

「誰でも憩える」
あいかわ
そんな町に...



4面のテニスコートに若々しいプレ
ーでオープン大会



町の中心地区に改築が待たれていた
ことぶき荘



エリアに花木を寄せてくれた豊村市蔵さん（美栄）と桜井 巖さん（下杉）に感謝状

陶芸ハウスは、おしゃやかな外観が
愛好者を増やしそう！



子ども未来基金

新たに六つの活用事業

十一月二日、町子ども未来基金の活用事業について協議する審査委員会が開かれました。

委員会では、前期から継続された申請と新たに申請された各事業について審査。町では審査委員会の意見をふまえて、下表の六事業について補助を行うことにしました。

今年度の子ども未来基金活用事業については前後期で二十一事業を認定。子どもたちの未来と町の未来を結び願いで活動が広がっています。

来年度以降も 支援します

来年度の子どもの未来基金については、できるだけ前期に一年間の活用事業を決定したいとの意向がまとめられています。申請については改めてお知らせしますが、新事業に

ついでに相談などがありましたら、役場総務課（☎七七八―二一〇〇）にお寄せください。

子ども未来基金活用申請事業決定内容

| 事業名 | 事業申請者 | 補助額 |
|-------------------|--------------|----------|
| 合川町ボーイスカウト団結成準備 | 結成準備会 | 385,000円 |
| 子どもスポーツ文化講演会 | 南小親子会 | 50,000円 |
| 東地区子ども映画会 | 東地区親子会 | 80,000円 |
| リズムダンス発表会及び研修会 | 合川町リズムダンスクラブ | 142,000円 |
| 「鎌沢の大仏さま」絵本作り | 合川町若妻会 | 103,000円 |
| 第6回全日本小学生相撲優勝大会参加 | 参加者代表 | 15,000円 |

じどうかんづうしん 27

こどもといっしょに、よんでくたさい

ぼくたちのコーナーが

産業文化祭 優秀賞

産業文化祭には、児童館コーナーを設けて頂き、子供たちの作品を展示致しました。児童たちの力作がズラリと並んだこのコーナーに今年は展示コーナー優秀賞をいただきました。

賑わいでした。尚、展示した作品の回収にあたり協力してくださった家族の方々にはこの場を借りて御礼申し上げます。

11月の行事では（カップラーメン等）に使用されているどんぶり・電池・輪ゴムを使い動くおもちゃづくりをしました。このおもちゃの動作がゆっくりとしたもので、カメラ



ちぢみっこ（上）とみんなのすてきな作品（下）が喜ばれた児童館コーナー



に仕上げる児童が多かったのですが、その他にはカニやウサギと動物にみためたり、TVアニメで人気のある『セーラーMoon』で回り一面を飾った女のこたちもいました。子供たちにとって、やはり動きのあるものに強く興味をそえられるようで、お互いに出来ばえを比べたり、速さを競ったりと暗くなるまで遊んでいました。

12月の行事は先回に続いて紙版画によるカレンダーづくりをします。

：どんなカレンダーに仕上がるでしょうか？

後半は今年最後のしめくくりとして「お楽しみ会」を予

公民館びり

白津

生涯学習ひろば

No.112

合川町公民館
(合川町立農村
環境改善センター)

合川町李岱字下豊田25番地
☎(0186)78-2114

町民綱引

大野台の里二年連続優勝

小学校の部は 南つ子が連続V

第十回合川町綱引大会は十一月十三日、町民体育館で一般男子、小学生の部合わせて十八チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

今回は、十回目を迎えての記念大会として試合形式を一部変更。今までは、二つのブロックに分かれて試合し、それぞれのブロック上位二チー

ムが決勝トーナメントに進出していましたが、今年はチャンピオンの部(例年どおり上位二チームによる決勝トーナメント)、準チャンピオンの部(上位二チーム以外の敗者による決勝トーナメント)と二つのトーナメントを設けての大会となりました。試合の結果、一般男子では大野台



の里チームが二年連続優勝。

小学生の部では南つ子バンビーズが優勝。南小チームが連続優勝をとげました。

▼チャンピオン一般男子の部

準優勝 川井体協B

三位 増沢体協

〃 木戸石体協

▼チャンピオン小学生の部

準優勝 西小いよぎーズ

三位 合川北小学校

〃 川井

▼準チャンピオン一般男子の部

優勝 三里綱引会

準優勝 下杉体協

三位 摩当体協D51

〃 厚生園

▼準チャンピオン小学生の部

優勝 上杉レンジャーズ

準優勝 合川

三位 南つ子トンネルズ

〃 いたてっこファイ

ターズ

北秋の歴史で文化講演会



十一月二十日、農村環境改善センターで文化講演会が開かれました。

講演では、講師に秋田大学学長・新野直吉先生をお呼びし「北秋の歴史」と題し、古代から近代にかけての話をうかがいました。

初めに主催者から「郷土の歴史についてわかっているようでわからない点が多々にある。今日の講演では専門的な立場からこれらの諸問題について説明下さることだと思えます」とあいさつ。

その後、新野先生による講演では、北秋は陸奥か出羽かとの内容で「奥州陸奥比内郡重内郷という地名がわかっていることから、北秋は陸奥であったのではないか」というこ

と、また秋田郡とはどこまでかという内容では「上津野、比内、野代、椛湖(椛湖とは鷹ノ巣、合川、森吉、阿仁地区を指す)が秋田郡であったといわれている」など多様な内容について講話されました。

会場には町外からの参加者などが集い、興味深い内容にくりわしい質問も出て、熱心な学習風景でした。



新野先生の講演に熱心に耳をかたむける

白津へーわをこがらひついで

今年には戦後最大の凶作と言われる米の生産高、北海道南西沖地震の被害、九州の災害と異変が続ぎ、自然の持つ脅威を大いに感じた年でもありました。

政治の面でも与野党が入れ替わり、この大きな変化は良し悪しにかかわらず、不安を感じさせるものがあります。こんな年に産業文化祭をやらなくていいではないか。という声もありましたが開催してみても良かったと思います。

「これ私が作ったんす」楽しそうな目をして、自分の作品を指差した。老人クラブの会員である。作ることを楽しみ、それを見てもらえる喜びが体中に溢れている。

病気で自分の思うことが出来ない人は別であるが、何かをやるうという気持ちで毎日の楽しさを作り出す原点だと思おう。

どの展示室を見ても素晴らしい作品に仕上がっていますが、の過程がいかに楽しいものであったか、その場所にあい

せた作者達の言葉の端々に現れていた。「苦労もまた楽し」である。

私達のあじさいグループは公民館の自主講座として発足、七年になる。職場を持つ人がエプロン姿のまま気軽に参加出来るように部落公民館を利用した講座で、佐藤満喜子先生の心良い協力を得て現在に至る。

33

会員は三木田、鎌沢合わせて十四人。夫達も協力してくれて、山からどっさりと花材を見つけて来て、皆がおすそ分けに預ったりします。先生の指導も大変上手で、終わった後に健康体操をしたり、楽しい雰囲気の中で勉強している。身の回りにあるものを花材にして、いかに自然の美しさを見い出すか。何事も自然でありたいと思う私達の心を満足させてくれます。

ライフワークを楽しむ

三木田 三浦浩子さん



ふるさとの「秋」を素材にすてきな作品ができました。産業文化祭での展示

図書室 だより

新着図書を紹介

○一般図書

- 東京発千夜一夜(森瑤子) 寂寥郊野(吉目晴彦) マシアス・ギリの失脚(池澤夏樹) パブリカ(筒井康隆) 陋巷に在り1・2(酒見賢一) 潮流(伊集院静) 分身(東野圭吾) 普賢、鳴りやまず(鐘ヶ江管一) 北朝鮮崩壊(上・下) (鄭乙炳) 皇帝ニコライ処刑(上・下) 逆説の日本史(井)

おめでとう

ございます

一三七組目の 農村環境改善センター

会費制結婚披露宴

- 杉山田・成田吉道さん(吉蔵さん・長男)
- 増沢・伊藤るみこさん(三郎さん・長女)

ご結婚、おめでとうございます。いつまでもお幸せに。



○児童書
しかけえほんを作ろう！(青津優子)
返却日を過ぎてもまだ返却されていない本があります。お手元に返却日が過ぎた図書室の本がありましたら、返してくださいようお願いいたします。

なお、貸出期間は、貸出日を含めて十日間となっています。

スポット 第18回町産業文化祭

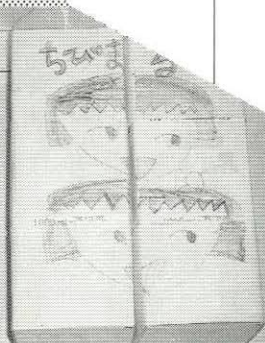
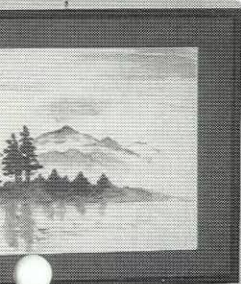


今年も子供たちに思い出を残し、参加者に感動を広げた「ふるさと讃歌、

十一月六、七日に開かれた第十八回町産業文化祭。今年は冷害のために農業関係で不参加部門がありました。展示部門、ステージ部門などに、それぞれの「一年間」がまとめられました。
産業文化祭をカメラで拾ってみました。
(阿仁川の清流を考えるシンポジウムについては、別ページに掲載)

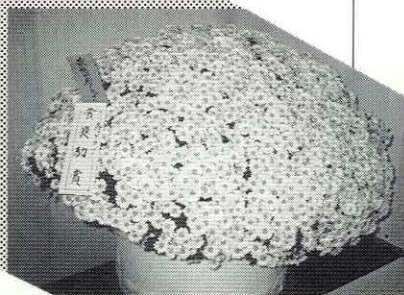


保育園児の合同鼓隊で多彩なステージ部門が開幕



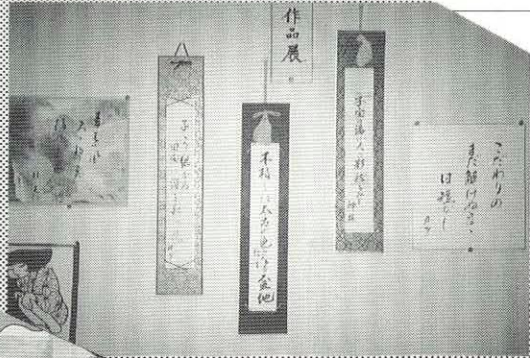
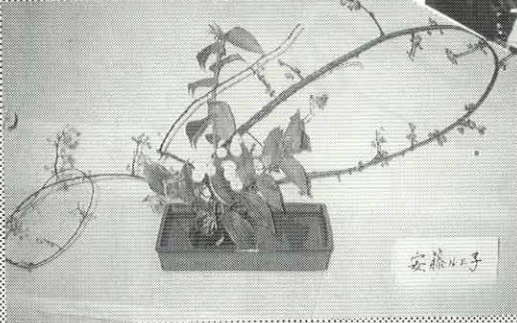
| | |
|----|--------|
| 品名 | からくり鈴木 |
| 部名 | 栗根町 |
| 名 | 松田 はおみ |

をまとめて、
となごやかな
展示コーナー





身近な生活を新鮮な視線で
小中高生の体験発表



農産物の即売コーナーでは冷害の話題がそこそこで……

空も大地も 新しい世紀をめざし

日々の活動
真剣な視線
交流が集う

'93秋田国際交流
ふれあいウォークラリー



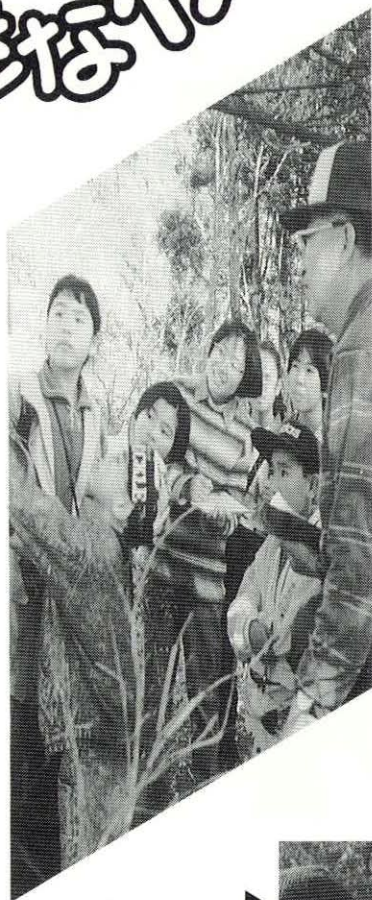
展望台の44段の階段を下りて「ポイント発見」

大野台で
大きな秋みつけた

十一月三日、大野台ハイランドで、秋田国際交流ふれあいウォークラリー大会が開かれました。会場にはミネソタ州立大学生など県内から三百人を超える参加者が集いました。

ウォークラリーは、配布されたコース図によって、クイズなどを楽しみながら自然の中を散策。決められた時間にあわせて点数を競い合うものです。

コースは野外ステージ前をスタートし、蟹沢山に上り、木戸石側の散策道をめぐる大野台ハイランド一帯を活用して設定。おにぎりにぎるゲームなどが用意され、チームごとに相談し合いながら秋の一日を楽しんでいました。



▶コースが進むにつれて、ふれ合い通い合う心



▲難問は知恵をかわせて多数決で決断
「これでよし」

シヨン協会の皆さんが主催したふれあいウォークラリーを紙上で楽しんでください。応募方法は21ページにあります。

問一 風邪をひいた人のくしゃみでウィルスは？①ほど飛び散る。 問二 大野台ハイランド展望台の階段は？段ある。

問三 あ①1 ん②11 あ

問四 ①2 ☆2 ☆3 ◇は？ 問四

①オンタリオ ②スベリオル

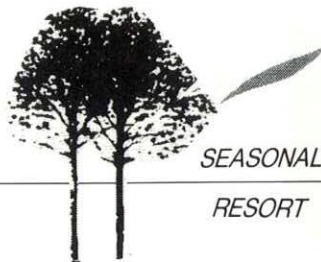
③ミサカ のうちアメリカカ五大湖でないのは？番 問五

次のうち正しいのは？番 ①北極は南極より寒い ②カカロオの実は枝にできる ③にわどりのヒヨコは卵の中で鳴き始める。



今回は、秋田国際交流ウォークラリーで出題された問題をヒントにタウンクイズをつくりました。合川町のレクリエー

↑ お ↓ ならば 1 ◇ 4



北欧の杜だより

19

污水処理場も ペンション風に――

北欧の杜公園の南端、下杉二号ため池の近くに、公園全域に計画されている建築施設の污水を浄化する污水処理場が完成しました。

公園の将来年間利用者数七十万人に対応するため、合川町の人口の約半数にあたる四千六百人の処理人員を対象にして建設されました。污水の処理方法は、農業集落排水事業と同じ方法を採用。処理水は、地元住民の要望により農業用水への影響を配慮して、下流の造坂川まで排水管を二キロメートルにわたって敷設して放流しています。

処理場の上部には脱臭を目的に土を覆い芝生で緑化しました。また、周囲には真っ白な柵をめぐらしています。管理室の外壁はログ仕上げ。臭気抜けはレンガの煙突風で、まるでペンションのようです。

污水処理場は、試運転を行ない、来年のオープンにそなえますが、当面は利用者数にあわせた処理運転パターンで運営管理する予定です。

フィンランドの木でフィンランドの職人が 北欧の杜公園にログハウスを建設

11月7日、北欧の杜公園の一角で、フィンランドの技術者によるログハウス造りが公開されました。

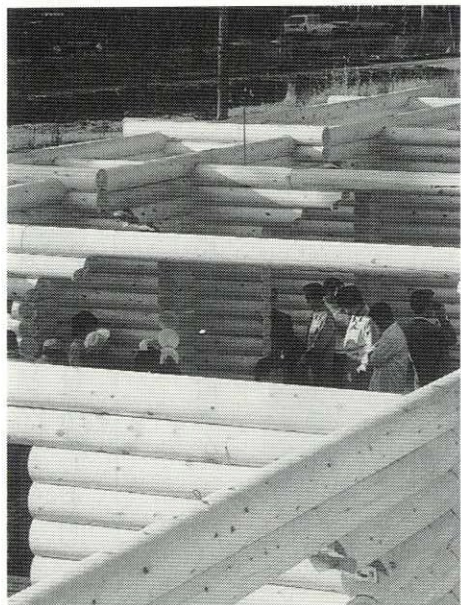
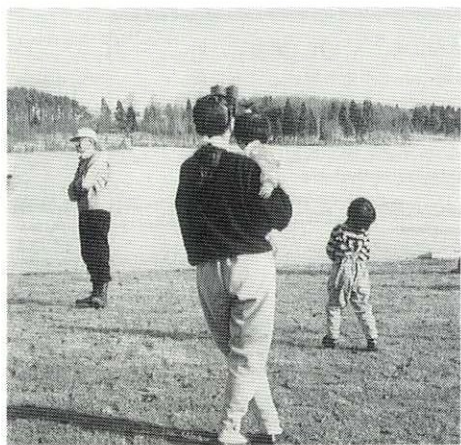


フィンランドの風景そのものを思わせる雄大な広がりや水辺の風景―北欧の杜公園は、来年度には部分オープンが予定されています。

北欧の建物と言えばログハウス（丸太組建物）。北欧の杜には休憩所、トイレなどのログハウスが建てられ、目をひらいています。こうした一棟にフィンランドの木材を取り寄せて、フィン

ランド人技術者を招いて、大型休憩所の建築が行われました。来町したハリー・バイオンバさんとアルボ・エリッキラさんは「北欧の杜は広大なエリアでびっくり。森吉山の方向を除けば、大野台はフィンランドとそっくりです」と感想。「木の重なり部分がぎゅっちりしたフィンランドのログ技術をぜひ紹介したい」と、熱心に工法などの説明にあたっていました。

会場には県内外から、二百人を超える視察が集まり真剣な視線。フィンランド産の木材（パイン材）の細かい木目に、利用の日を待望する声が寄せられていました。写真上―一足先に北欧の杜の魅力にふれた家族連れも。下―専門の職人から一般のログファンまで幅広い参加。



みんなはつらつ元気です

山村留学まとはび学園で収穫祭



先人の農作業の苦勞を考
ながらがんばるぞ



元気に打ち鳴らせ学園生の
合川太鼓

十一月十三日、山村留学まとはび学園の第一
回収穫祭が開かれました。
収穫祭は、作物の実りを喜び合うとともに、
学園の八カ月間の活動をまとめる行事として
開かれたもので、町の子供たちを招いて開催。
留学生の父兄や滞在農家の父兄も参加して、
農作業で汗を流し、体験発表などで喜びを分
け合いました。

収穫祭で拾った言葉

発表などの中から、
一言だけ紹介します

空の広さが
違います



学園生
北本 良子さん

神奈川と秋田は空の広さが違います。星の
光りも違います。私は山村留学に来て、初め
て“雲”を意識して空を見るようになりました。

秋田から大阪に来て8カ月（緊張のため
「大阪から秋田へ」一のまちがい。でも、会
場から「すっかり秋田の人になって」と大
きな拍手）いろいろ体験することができまし
た。これからの生活にも楽しみがいっぱいで
す。

貴重な体験
いっぱい



学園生
北村 明子さん

みんなが
明るくなりました



鎌沢
御所野 拓さん

集団登校で手こずることもあるけど、南小
のみんなが明るくなりました。

初めはなかなか声もかけずにいたけど、
いつの間にか、仲良しになっていました。

いつの間にか
仲良しに



三里
松橋 美樹さん

まとび学園では四十アールの田んぼに、あきたこまちを植えました。鍬(くわ)を使って田を起こし、代かき、田植えなどの作業を体験。冷害の中で、平年作に近い出来秋になりました。

十月十日に稲刈りを終え、自然乾燥させた稲束をこの日は脱穀作業。せんぼこぎ、足踏み脱穀機、ふるい、とうみが並べられ、子供も父兄も先を争うように作業に取り組んでいました。

神官役の学園生を中心に収穫感謝の神事。祭壇には、学園の畑から父兄が「見たこと

もない」と歓声をあげた野菜が収穫され並べられました。体験発表では個人研究、農家と学園での生活、地域の児童の体験、受け入れ農家の感想、学園生父兄の感想が発表されました。

個人研究は動物との出会い、薬草ときのこの研究、天気調べなど、自然の中での感動を生き生きと紹介。農家体験と学園生活の紹介では、寸劇を交じて、秋田の家族、秋田の兄弟を思わせる心の交流のすなおな表現が、参加者の感動を呼んでいました。

個人研究は動物との出会い、薬草ときのこの研究、天気調べなど、自然の中での感動を生き生きと紹介。農家体験と学園生活の紹介では、寸劇を交じて、秋田の家族、秋田の兄弟を思わせる心の交流のすなおな表現が、参加者の感動を呼んでいました。



学園の畑で野菜を収穫

まとび学園では現在二期生を募集しています。
おたずねは町教育委員会(☎0186-78-2117)またはまとび学園(☎0186-78-4193)におよせください。

出会いと感動
大切に



学園生
木村 賢太さん
お父さん

こんなすばらしい町にお世話になり、人々との出会いや自然の感動を肌(はだ)で感じながら成長してくれば、それ以上に希望することはありません。

恵まれた自然の中で、人を思いやる気持ちをもてるようになりました。自信を持って生きていける子供に育ってほしいと願っています。

学園生
北本 良子さん
お母さん



人を思いやる
子供に

大きな心の収穫を



受け入れ農家
杉淵 好男さん

冷害の中で、学園の畑のじゃがいもは地域の人たちより良い収穫でした。これから冬の厳しい自然を経験して、さらに大きな心の収穫になるように、一緒ががんばりましょう。

5月にはホームシックな様子を見せた子供が、夏の帰省の時には伸び伸びとたくましく育っていることを確信させてくれました。山村留学は親自身が学ぶことの多い体験になっています。

学園生
畑山 芙美さん
お父さん



親自身も
学んでいます。

おがあさんへのメッセ〜ジ ⑧



事故について

- ① 1才〜4才児の死因で最も多いのが不慮の事故によるもので、3人に1人が事故死です。原因別では、溺死が36%、自動車事故32%です。
- **溺死**は、何も川や沼でおきているとは限りません。お風呂場や、水を入れた洗濯機をのぞきこんで頭から中に入ったとか、洗面器一杯の水でも溺れます。
 - この他 ポットを倒しての**やけど**、温風ヒーターに寝返りして近づいたままもどれずにやけどしたり、テーブルクロスをひっぱってお湯をかぶったりと、やけども結構多くみられます。
 - 1才児は、大人が“危険”をさけてあげなければなりません。時々、子どもの視線に自分をあわせ、部屋の中をみましょう！
 - 2才児には、“危険なことへの注意”をもたせていきます。具体的には、少し熱さの残っているアイロンへさわらせて、アイロンは熱いという体験をさせたりすることです。
 - 3才児になったら、外で遊ぶことや、三輪車遊びなども入ってきます。交通ルールを教えていきましょう！
- ② 老人のやけど
ホッカイロ、電気毛布など、低温でも長時間使用する場合、感覚が鈍くなっている高齢者には特にご注意ください。



救急車の呼び方

- 落ち着いて119番を回し、はっきりした言葉で次の事がらを伝えて下さい。
 - ① 火事と救急の区別 — 例えば「救急です」のように。
 - ② 住所と氏名 — 例えば「××町×番×号の合川太郎です」のように。
 - ③ わかりやすい目標（目印）があれば、それを伝える。
 - ④ 誰がどうしたのか、原因・内容・今の状態・人数などを明確に伝える。
- 電話機の種類によってかけ方が違います。
 - 黄色電話 — 中央近くにある赤ボタンを押してから119番。
 - 青色電話 — そばにある赤い緊急呼出器の119番を回す。
 - 赤色電話とピンク色電話 — 電話の管理人からカギを借り、切り替えてから119番



風邪の季節です

風邪をひいた人がくしゃみをする時、くしゃみ1回につき数万個のウイルスが秒速25mの速さで45mほど飛び散ります。風邪をひかないように、風邪をうつさないように気をつけましょうね。

冬の足音を聞きながら、保育園・学校では新年度に向けての準備も進められています。十月二十六日、合川北小学校では明春の新入学や予定児童の健康診断と適性テストが行われました。

一足先の「入学」に元気いっぱいの子供や、ちよつぱり手こずらせる子供。かわいさいっぱいの子供達に、付き添いのお母さんたちのほうが緊張さみのようでした。

表紙
もうすぐ一年生
健康診断

死ぬ直前まで マットで汗を流していたい

健康に対する私の基本的な考えは、「運動と栄養と休養のバランスのとれた体力づくり」これに尽きます。人間は普通、一日に一万歩を歩く運動が必要だといわれていますが、とにかく汗を流して、体に余分なエネルギーを残さないことが大切です。

食事に関しては、やはりタンパク質、脂肪、炭水化物、ビタミン、そしてミネラルのバランスを、いつも心がけていますね。これは、レスリング選手として活躍していたころからの習慣です。私も六十歳をとうに過ぎました。いまは、脂肪分と塩分のとり過ぎにならないように、気を配る

ようになりましたよ。

良質のタンパク質をとるとは、年をとってからでも大切なことです。大豆、卵、乳製品、魚、肉類をうまくとり合わせた食事を、できるだけ心がけています。現役時代から一日二食主義を続けていますが、カロリーのとり過ぎは要注意ですからね。昔は一日五千五百カロリーでしたが、いまは二千七百カロリー前後に抑えています。

眠れないときは 牛乳は効果がある

「眠くなったら、とにかく熟睡する」というのが、私の

主義でしてね。車や電車での移動時間はできるだけ休んで、短い時間でもいいから、熟睡することになっています。仕事柄、海外に出かけることが多く、時差ボケになったりしますので、いつでも、どこでも、眠くなったら眠るといのが特技になりましたね。

睡眠は健康維持のために大切ですが、なかなか寝つけないうと神経質になりがちですね。でも、人間は疲れてくると体がちゃんと要求して、眠くなるようにできているんです。ですから、何がなんでも八時間眠らなきゃと神経質になるのは、私にはナンセンスに思えるんですよ。

もし眠れないときは、牛乳をコップ一杯飲まれることをお勧めします。赤ちゃんが、お母さんのおっぱいを飲んでスヤスヤ眠るように、牛乳は

眠れないとき効果があります。
体力づくりの大切さを
新しい世代に伝えたい

私は現在、(財)体力づくり指導協会の理事長という仕事に情熱を傾けています。小さいころに虚弱体質だった自分の経験から、体力づくりの大切さを新しい世代に伝えたいと考えているからです。平たく言えば、国民全員を対象に、体力づくりを進めていきたいというのが私の願いです。もちろん、これを実践していくためには、私自信の体力づくりもおろそかにはできないわけですね。年をとっても体にサビがつかないように、頑張りたいと思います。できれば、死ぬ直前まで、マットで汗を流していたいというのが私の念願なんです。(談)

若さの秘密 わたしの場合



勲日本アマチュア
レスリング協会会長

笹原 正三さん ①



ポインセチア

町診療所に常勤医師

所長に今村先生

よろしくお願ひします



十二月一日から町診療所長

(常勤職員)として今村先生が就任されました。

町診療所は平成二年から、医師が短期間で交代して診療にあたってきていますが、町では町民の健康管理の中心施設として、常勤滞在医師の確保に努力してきました。

今村先生は東京都生まれで

三十七歳。順天堂大学医学部を卒業後、山形大学医学部、自治医科大学附属病院、筑波学園病院、筑波大学附属病院で勤務されてきました。

着任後は、診療所に隣接する医師住宅を利用される予定で「これまでの経験を生かし、町民のためにお役に立ちたい」と張りきっておられます。よろしくお願ひします。

献血協力

あなたの真心を

ありがとうございます

十月二十六日に献血車が来町し、次の方々から献血に協力いただきました。協力いただいた皆様を紹介し、お礼申し上げます。(敬称略)

〈四百CC献血者〉

七尾富男 武石篤 佐藤泰人
佐藤邦久 畑沢洋一 三浦一英
成田時子 田中勝秀 金田憲司

〈二百CC献血者〉

高橋忠 工藤久男 藤田寿

藤嶋章男 越前修 成田利美

子 桜井いずみ 関源一 木

村智子 杉渕さき子 松橋隆

河田因彦 村形一 鈴木真理

子 藤島宏幸 吉田栄一 関

浩明 文本照子 成田賢一

桜庭義仁 斉藤光幸 佐藤京

子 木村牧子 杉渕義仁 御

所野則子 桜田幹夫 坂本剛

三浦三郎 疋田恵悦

〈成分献血〉

成田順一 成田和吉 文本恵

典 金田浩樹

三友電気(株)に

感謝状

今年度の献血感謝のついで、三友電気(株)秋田事業所に県知事から感謝状が贈られました。同事業所は献血の趣旨を理解し、大野台工業団地の中で特に率先した献血活動が感謝されています。

三氏に 銀色有効章

次の三氏に日本赤十字社か

医療費の助成制度があります ～福祉医療制度のお知らせ～

家庭の十八歳未満の児童

保健課に申請してください。

次のような(母又は父が障害者等の場合でも、該当することがあります)

- ①乳幼児(二歳未満児及び二歳の入院児)
- ②母子、父子
- ③高齢身体障害者(六十五歳以上で社会保険の本人を除き、身体障害者手帳四〜六級所持者)
- ④重度心身障害(児)者、(身体障害者手帳一〜三級所持者及び療育手帳A所持者)

町の辞令

(十二月一日付)

任用

合川町国民健康保険診療所長

保健センター所長 今村 明

免兼務 ()内は前任

助役 高橋宮雄(保健課長・保健センター所長事務取扱)

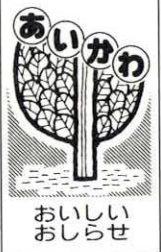
昇格

保健課長 沢藤孝志(同課長補佐)

町営住宅入居募集中

明田住宅 1戸
鳥屋岱住宅 1戸
林岱住宅 1戸

くわしくは役場建設課へお問い合わせ下さい
でんわ 0186-78-2115



合川橋17日から 車両通行止め

合川橋の橋梁補修工事のため次の期間、車両通行止めになります。

通行止め期間 平成五年十二月十七日午前十時から平成七年九月三十日まで

仮設歩道橋が設けられ、歩行者、自転車は通行できます。歩道が狭いため自転車は、おして通行してください。

ご協力ください

道路はみんなのもの 道路上の枝落とし

家庭の庭木が道路の上のびて、通行のじゃまになっていませんか。

▽街灯の光が弱まる
▽歩行者の危険がふえる
▽大型車が交差できない。視界がさえぎられるばかりでなく、車体につつかる場合がある

冬季の除雪車運転の障害になる。

そろそろ除雪車が 出動します

特にこれからの季節、いつでも除雪車が出動できるように協力をお願いします。庭木の枝や、道路側の置き物などを点検してください。

枝落としの目やすは、街灯(防犯灯)より上までとし、部落内で「危険」と思われる場所は、注意し合いたいものです。

歩行者・普通車の視線ばかりでなく、大型車の視線で点検ください。

除雪車の通行に、どうしても障害になる場合は運転手が切り落とします。特に気が付いた場所がありましたら、役場建設課(☎七八二二二五)にお知らせください。

労働時間短縮に 補助金

今年七月に労働基準法などが改正され、平成六年四月から原則として週四十時間労働制が実施されることになりま

した。一部中小企業については猶予措置や奨励金の制度が設けられています。くわしくは大館労働基準監督署または(社)秋田県労働基準協会(秋田市☎〇一八八―六二―三三六二)におたずねください。

交通事故相談

※県の相談員

十二月九日午後一時から三時三十分。役場相談室で。

それ以外の日は北秋田福祉事務所(☎六二二―二七五)で月・火・木・金曜日。

※(社)日本損害保険協会相談センター(秋田市・☎〇一八八―二三―五九二二)

こんな時 確定申告

サラリーマンでも次のような人は、確定申告をしなければなりません。

- ①給与の年収が千五百万円を超える人
- ②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える人

消防団長に 小田慶一氏

③給与を二か所以上からもらっている人
また、確定申告をすると源泉徴収された所得税が還付される場合があります。
くわしくは役場財政課におたずねください。

合川町消防団長に小田慶一氏(前副団長・木戸石)が任命されました。伊藤鉄郎団長の退任に伴い、十一月二十七日に幹部団員による推薦会が開かれ小田氏を推薦。十二月一日付で町長から辞令を交付します。

広報 タウン クイズ

応募ください。

問題は14ページにあります。
応募先 役場総務課
締切 12月20日(着信)
発表 広報正月号で
応募方法 答、住所、氏名を書いて応募ください。正解者または正解に近い方五人に、お年玉を送ります。広報へのおたよりなどを書いてくれるとうれしいです。
前号の当選者(敬称略)
増沢 安部有紀子 鎌沢 福田虎吉 青森県三沢市 金須伸之 大阪府堺市 谷口英子 静岡県藤枝市 三浦俊二

年末・年始のごみ収集 業務の休みのお知らせ

12月29日(水)～1月3日(月)まで
収集業務が休みになります。

でんわ78-2113

町出身者の ご参加を!

首都圏合川会の集い

首都圏合川会(首都圏阿仁川会を発展改称)の通算して

第二十九回総会が次のとおり開催されます。合川町出身の方々が、親睦と交流を深め、お互いに励まし合おうとする

年一度の集いです。

皆様の参加をお待ちしております。また、各家庭から首都圏の皆さんへ参加を呼びかけてください。

日時 平成六年一月十六日(日)午後四時から

場所 中野サンプラザ13階・飛鳥の間(東京都中野区中野四一―一 JR中野駅北口下車)

申込み 東京都文京区湯島三―二〇―九 日本私学育英共済事業団気付・首都圏合川会々長和田吉次(☎〇三―三三三六―一九二)

申込み 東京都文京区湯島三―二〇―九 日本私学育英共済事業団気付・首都圏合川会々長和田吉次(☎〇三―三三三六―一九二)

便利になります

秋田内陸線

十二月一日からのJR各線のダイヤ改正に合わせてさらに便利になる秋田内陸線のダイヤ改正についてお知らせします。

①東京が近くなります。

東京発午後三時、やまびこ五号からもりよし四号に乗り継ぐと、所要時間が三十分近く短縮になりました。

②JR線との接続が便利になりました。

③停車時間、待ち時間が短く

なりました。

列車によって違いますが最高三十七分も停車時間を短縮。阿仁合駅での接続列車を増やすなどの改善が図られました。

※時間の変更などを確認してください。

利用ください。

最低賃金が 変わりました

秋田県最低賃金が次のとおり改善されています。

一日 四千二百二十四円(賃金の大部分が時間によって定められている者は一時間五百二十八円)

効力発年日 十月九日

善意のご寄付

十月届・敬称略

【香典返しにかえて】

八幡岱 藤田 昭男

故叔母 サキ

木戸石 佐々木チャ

故母 マサ

合川 福岡 勝芳

故父 勝治

芹 沢 土濃塚鉄吉

故父 文助

金 沢 山形 正

故妻 貞

芹 沢 芹田 秋雄

故長男 一 昭

【一般寄付】

小笠原洋品店

岩沢呉服店

【広報郵送料として】

神奈川県綾瀬市大上6―20―5

桜庭 光香

静岡県藤枝市駿河台3―14―5

三浦 俊二

調査員が訪問します
ご協力ください。

工業統計調査

成人式で改めて あなたの年金

新成人として与えられる権利は、選挙権などがすぐ頭に浮かびますが、反対に大人としての義務を追究することも忘れられません。

長い老後に何の保障も無い生活では困ります。

また、不幸にして病気やケガで働けなくなることも

国民年金係から

加入して保険料を納める
ことが、年金受給のための
第一歩です。

あります。そのようなときのためにも国民年金には加入する義務があります。

そこで新成人の加入手続きですが、二十歳になったとき、自営業等の方とそ

ご家族、学生およびサラリーマンの奥さんはお住まいの市町村役場に届出します。

勤めている方(厚生年金・共済組合加入)は届出は必要ありません。

加入して保険料を納める
ことが、年金受給のための
第一歩です。

加入して保険料を納める
ことが、年金受給のための
第一歩です。

いなちゃん日記[®]

まちかわアイ



とりける



慶弔だより

(10月届)

【お誕生おめでとうございます】

松岡 尚吾^{しょうご}ちゃん 弘 樹^{ひろ} さんの長男
 るみ子^{るみこ} (羽根山)

佐藤 翔太^{しょうた}ちゃん 久 雄^{ひさ} さんの長男
 真理子^{まこと} (東根田)

成田 典礼^{もりひろ}ちゃん 典 久^{のりひさ} さんの長男
 淳 子^{じゆん} (五輪岱)

金田 貞篤^{さだあつ}ちゃん 貞 範^{さだのり} さんの長男
 江里子^{えりこ} (合 川)

藤岡 俊明^{としあき}ちゃん 清 俊^{しみず} さんの長男
 保 子^{たも} (羽 立)

鈴木 美紀^{みき}ちゃん 亮 一^{あきら} さんの長女
 広 子^{ひろ} (鎌 沢)

【謹んでおくやみ申し上げます】

土濃塚文助 芹 沢 鐵吉 妻の父
 小林 カツ 新田目 喜七郎 妻
 桜田治財門 李 岱 昇 父
 山形 貞 金 沢 正 妻
 畠山 フツ 木戸石 忠 助 母
 芹田 一昭 芹 沢 秋 雄 長男
 工藤 ヒデ 下 杉 末 松 妻
 加藤喜七郎 鎌 沢 行 仙 父

【いつまでもお幸せに】

(斎 藤 力 新 田 目
 虻 川 万里子 大 館 市
 (加 賀 清 元 阿 仁 町
 吉 田 淳 子 川 井 井
 (杉 渕 和 仁 増 合 川
 米 倉 志 保 合 川
 (豊 村 利 広 美 栄 栄
 伊 藤 江利子 阿 仁 町
 (高 堰 義 明 三 里
 清 水 紀 子 千 葉 県 市 原 市
 (吉 田 幸 則 川 井 井
 柳 谷 睦 大 館 市

まち

(10月31日現在)

(10月31日現在)

人 口

男 4,216人 (3人増) 219

女 4,640人 (2人増)

計 8,859人 (5人増)

転入 20人 転出 14人

世帯数 2,874世帯(3世帯増)

町長日記 から

いよいよ年の瀬も近くなって人々は多忙を極める。今年
 は冷害、九州地方を中心とする台風災害、そして北海道西
 南沖地震など、全国的に災禍の多い年であった。それに米
 の輸入自由化、長びく不況などの経済問題があり、国政は
 自民から反自民に動き、ようやく主導権が連立与党のペ
 ースになりつつある。

この時期、県や市町村でも来年度予算の関係で上京を重
 ね多忙を極める。消費生活者優先の掛け声はマスコミに乗
 って、地方農山漁村は影が薄くなり、人の少ない地方には金
 もいらないと、短縮した考えが国政レベルで横行する。戦
 前からそうであるが、戦後、地方は中央の経済政策に振り回
 され、余恵を頂くことに慣れ、自らの地域の魅力を失って
 しまった。

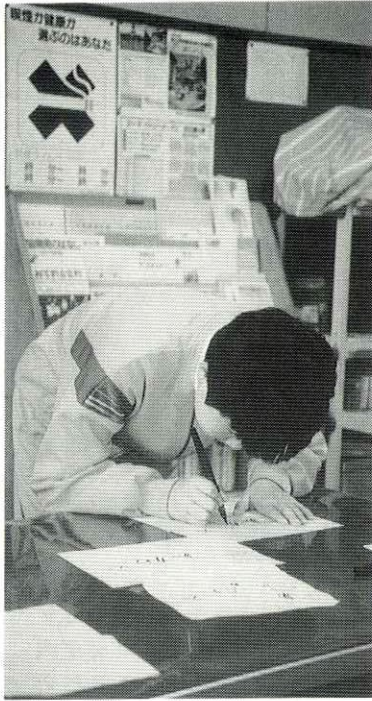
地方に誇り高い文化を創出するため、今、秋田県町村文
 化行政協議会を設立するため各町村に呼びかけ、ようやく
 11月22日、発足の運びとなった。私は主唱者であるが、他
 の町村長に運営は任せる考えでいる。

わが町も福田の獅子舞い、増沢の人形、川井などの駒踊
 りが人々の心に浮かぶ。李岱の子供駒踊りなどは、成田シ
 ゲ先生の心意気で出発してから次第に定着してきた。

福田の移動町民室で「獅子舞いによる部落づくり」一若
 者が体に汗して心をつにすることが地域課題への第一歩
 であり、それが成功すると、何をやっても成功するし、そ
 の逆の場合、文化的連帯のない行動は水泡のように消え去
 る性質のものであると、私の考えを述べたことは9月のこ
 とだ。(義)

DAIZI

表紙の題字



北小学校6年

安部 麻里子さん

「あいかわ」の10月号は友だちの字でした。

私は今、書友の9段。卒業前に10段をめざしてがんばっています。慣れない筆ペンで字をそろえるのが難かしかったです。

広報あいかわ

No. 425

平成5年12月3日

○合川町役場総務課

秋田県北秋田郡合川町新田目字大野82-2

○ ☎ (0186) 78-2100

○ F A X (0186) 78-3277

| 日 | 曜 | 行 事 名 | 場 所 | 厚生員訪問 |
|----|---|-------------------------------|---------------------|---------------------------|
| 1 | 水 | スポーツ教室、健康相談 | 町民体育館 | 松ヶ丘 |
| 2 | 木 | 健康推進リーダー研修（～3日） | 由 利 町 | 芹 沢、三 里 |
| 3 | 金 | 結核予防婦人会幹部研修会 | 阿 仁 町 | 摩 当、三木田 |
| 4 | 土 | 土曜閉庁 | | 鎌 沢、杉山田 |
| 5 | 日 | 金沢溜池竣工式 北保育園発表会 | | |
| 6 | 月 | 合川町健康を考える連絡会 | 保健センター | 李 岱、羽根山 |
| 7 | 火 | 在宅ケア連絡協議会 予防接種（インフルエンザ） | 保健センター | 八幡岱、木戸石 |
| 8 | 水 | スポーツ教室、健康相談 二才児歯科検診 | 町民体育館 保健センター | 合 川、東根田 |
| 9 | 木 | 予防接種（インフルエンザ） | 保健センター | 松ヶ丘、増 沢 |
| 10 | 金 | 予防接種（インフルエンザ） | 保健センター | 美 栄、道 城 |
| 11 | 土 | 土曜閉庁 下杉集合施設等竣工式 東西南保育園発表会 | | 上杉、新田目、 松ヶ丘、木戸石、 道城 |
| 12 | 日 | | | 桃 栄、上 杉 |
| 13 | 月 | 部落巡回健康相談 予防接種（麻シン） | 鎌 沢 保健センター | |
| 14 | 火 | 部落巡回健康相談 おばあちゃんの栄養教室 | 杉山田、三里 保健センター | 川 井、新田目 |
| 15 | 水 | 部落巡回健康相談 予防接種（三種混合） | 増 沢、八 幡 岱 保健センター | 松ヶ丘 |
| 16 | 木 | 育児相談 乳児健診 | 保健センター | 西根田、芹 沢 |
| 17 | 金 | 部落巡回健康相談 ことぶき大学 | 上 杉 | 三 里、鎌 沢 |
| 18 | 土 | 土曜閉庁 ろばた講座開講式 | | 三木田、摩 当 |
| 19 | 日 | | | |
| 20 | 月 | 職域健康相談 | 営 林 署 | 杉山田、李 岱 |
| 21 | 火 | | | 合 川、東根田 |
| 22 | 水 | リハビリクリスマス交流会 | | 羽根山、道 城 |
| 23 | 木 | 天皇誕生日 | | 桃 栄、上 杉 |
| 24 | 金 | | | 松ヶ丘、八幡岱 |
| 25 | 土 | 土曜閉庁 羽根山集合施設竣工式 | | 木戸石、増 沢 |
| 26 | 日 | 小中冬休み（～1月16日） 短期山村留学（～30日） | | |
| 27 | 月 | | | 美 栄、川 井 |
| 28 | 火 | 仕事納め | | 新田目、西根田 |
| 29 | 水 | | | 芹 沢、三 里 |
| 30 | 木 | | | 摩 当、三木田 |
| 31 | 金 | | | 休館日～1/5 |